



別館2階から博多湾を望む。日の丸の下に「Z旗」



理事長兼館長
川西 保寛

嬉しいニュース 『博多湾物語』を常設展示する能古博物館に
とって嬉しい海のニュースが相
次ぎました。一つは宗像市の60
キ沖にある海の正倉院「沖ノ島」
の世界遺産登録です。

『博多湾物語』—新たな展望—

あと一つは「朝鮮通信使」
のユネスコ世界記憶遺産登
録。通信使一行は釜山から
船で朝鮮海峡を渡って対馬
經由で江戸に赴く途中、博
多湾東方の相島(福岡県新宮
町)に滞在します。

朝鮮通信使と亀井南冥 接
待役の福岡藩は藩の学者ら
を派遣して歓待しますが、
学者の末席に儒学者亀井南
冥(1743～1812)が
いました。

南冥は当時21歳の若輩で
ありながら三週間ほどの間
に朝鮮の学者と筆談による
詩文のやり取りを10回も重
ね、評判になります。

「博多湾物語」の誕生 ご承
知のように能古博物館は南
冥一門の顕彰を目的に創設
されました。2008年に
は博多湾を一望に収める「海

「Z旗」11905(明治
38)年5月27、28両日の日
本海海戦でロシアのバル
チック艦隊を破った日本
海軍連合艦隊の旗艦「三
笠」はマストにZ旗を掲げ
て戦った。

の部屋」を新設。常設展示『博
多湾物語』も蒙古襲来から
サザエさんまでくがスター
トします。

博多湾の風と波 「海の部
屋」は国内有数の風と波に
恵まれた博多湾のヨット史
を中心に展示しています。
九州帝大ヨット部は日本の
ヨット界が五輪デビューし
た戦前のベルリン大会
(1936)に2選手を送り
出した名門です。戦後は東
京を皮切りにリオまでの8
大会に12人の博多湾育ちが
出場しています。(モスクワ
は日本がボイコットしたた
め選手選出のみ)

シングルハンドに目を
転じると、牛島龍介さん
(福岡県立筑紫丘高卒)は
1974年、史上初の太平
洋単独往復航海に成功しま
した。彼は高校生のころ、
小戸海岸と能古島間の博多
湾を泳いで往復し、風と波
の世界にのめりこみます。
南冥と金印 南冥が鑑定し
た国宝「金印」は後漢に朝貢
した奴国王が57年に洪武帝
から与えられたものですが、
江戸時代の1784年に湾
内の志賀島で発見され、南

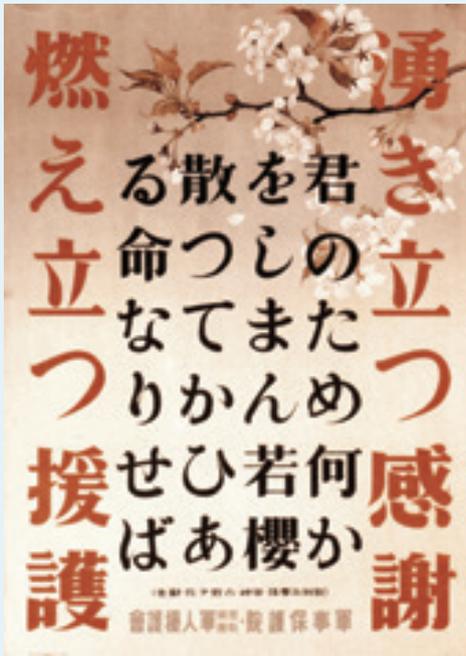
(次頁下段に続く)

『プロパガンダ・ポスターにみる日本の戦争』顛末記

青梅市立美術館 学芸員 田島 奈都子

二〇一六年の夏に勉強出版から刊行した拙著『プロパガンダ・ポスターにみる日本の戦争』は、現在阿智村に寄託されている戦時期に製作・使用されたポスター百三十五枚を中心に、関連作品を紹介する書籍である。刊行当初、この種ポスターに焦点を当てた内容は、戦争が何かと話題になりやすい夏に刊行されたことと、他に類似本がないことも相まって、大いにマスコミの注目を集めた。また、これを契機として、能古博物館においても二〇一七年夏から代表作を展示する展覧会が開催された。ただし、ここに至る経過は必ずしも順風満帆ではなかった。

戦争に関する言論は、書き手も読み手も熱を帯びやすい。特に昨今は、世界的に「自国第一主義」や「排外主義」が強まっており、「自虐史観」と受け取られかねないとの判断からか、戦時期の出来事に関しては、「客観



岸信男 軍事保護院、
恩賜財団軍人援護会 1942年

的事実」でさえ正面から取り上げることを差し控える、「自己規制」や「萎縮」が散見されるようになってきている。実際、ポスター調査の一環として各機関を訪問してみると、日本製プロパガンダ・ポスターを一定数以上所蔵しているところは意外に多いものの、その公表や公開となると、一部の平和系博物館を除くと、前述の状況を受けて慎重姿勢を示すところが少なくなく、「死蔵」されがちなのである。

では、実際に書籍を刊行しての反応であるが、販売数が伸びた割には、直接的な意見が出版社や私に寄せられることはなかった。ただしこの反応は、現実存在したポスターがフルカラーで提示され、淡々とそれらまつわる事実が紹介されてしまうと、認めたくない事実であっても、認めざるを得なかったためにも受け取れる。

ちなみに、海外の反応であるが、韓国の博物館関係者は、日章旗と旭日旗をあしらった表紙

(前頁からの続き)

冥の鑑定につながります。金印は博多湾の国際性を示すシンボルに思えてなりません。

一衣帯水 地球を覆う大海原を往く海運は、古代から国と国をストレートに結ぶ重要な交通路でした。博多湾の史実で言えば、遣隋使、遣唐使、刀伊の入寇があります。蒙古の大軍が押し寄せた文永の役(1274)と弘安の役(1281)では数百隻の軍船が博多湾に侵入し、現在の福岡市早良区祖原付近などに上陸、日本の武士団と交戦しています。

能古島を中心とした江戸期の五ヶ浦廻船は博多湾に70隻有余の千石船を浮かべ、島の繁栄を支えました。湾外の対馬海峡では、乙旗を掲げて戦った日本海海戦(1905)の砲声が福岡市民の耳にまで届きます。

敗戦直後の博多湾は、海外引き揚げの、日本民族大移動で大きな役割を果たしました。

海の歴史紡ぐ 福岡市・東公園に立つ銅像2体をご存知でしょうか。台座を含めると高さ約23mといわれる日蓮上人像と亀山上皇像とが「元寇史」を物語っています。しかしながら英国・ロンドンの広場にそり立つ救国の英雄ネルソン像が多く、訪れる外国人の姿は少ない様子で、そばの「元寇史料館」の豊富な資料も勿体ない感じですよ。

海外からの観光客は国際色に富む福岡市の歴史をもっと知りたいのではないのでしょうか。小さな能古博物館でさえ中国や韓国を始め欧米の若者がひとり旅でふらりとやってきます。当館も将来を見据え、心を新たに新年を迎える所存です。

では皆様、良い年をお迎えください!



土屋華紅 大蔵省、
道・府・県 1941年

のデザイン自体に「拒否的反應」を示し、台湾の研究者は「興味深い内容ではあるが、台湾でこれを翻訳出版することは出来ないだろう」との感想を述べ、同様の意見は上海の中国人研究者からも寄せられた。このことは、日本の植民地であった国や地域にとつての日本製プロパガンダ・ポスターは、未だに「直視し難い存在」であることを物語っている。

一方、「戦争」や「軍事」が研究テーマとして確立している、欧米の研究者や日本研究を専攻する若い学生からは、日本製プロパガンダ・ポスターと、同時代の自国の同種のポスターとを比較した建設的な意見や感想が寄せられ、個人的には非常に興味深かった。

戦時期の資料に関しては、今回のポスター類がそうであるように、掘り起こされていない、もしくは活用されていないものがまだまだ国内にも存在する。



日名子実三 恩賜財団軍人援護会長野県支部 1939年

従って今後は、そうしたものがこれを機に積極的に世に出され、共有化されることを祈念している。なぜなら、それらは「時代を映す鏡」として、当時の状況を雄弁に物語ってくれるからであり、それらの声を真摯かつ冷静に聴くことが、混沌とした現代に生きる私たちには、何よりも必要と思われるからである。

筆者略歴 東京都出身、筑波大学大学院博士課程芸術学研究科単位取得満期退学。専門は日本のポスターを中心とするデザイン史。現職は青梅市立美術館学芸員。

能古島一周 ウォーキング大会

今年で第7回を迎えた大会は11月18日(土)、約700人を集めて開かれた。福岡市地区郵便局長協会の主催。ふだん顔なじみの郵便局長さんが8・5kmのコース沿いに待ちかまえ、参加者に声援を送った。

コース後半の5km地点付近に、「美しの島能古」と彫られた進藤一馬さん(1904～1992)揮毫の自然石の碑がある。「春霞 玄海志賀や能古の海」の自作の句が目を引いた。

進藤さんは福岡市長時代しばしば島を訪れ、島の人たちと親しく交わった。付近には晩年を島内で過ごした作家檀一雄の記念碑もある。



ポスター展のアンケート

「西日本新聞で知りました」。九州で初めて公開された「プロパガンダポスター展」の来館者第1号は新聞片手に鹿児島からやってきた中年の男性でした。地元テレビ局RKBもニュース番組で詳しく伝えました。

三カ月の開催期間中(開館日数62日間)会場内で行ったアンケートに34人(男性17、女性15、男女未記入2)の方々から回答をいただきました。

年齢別のトップは60代(11人)、次いで70代(7人)、40代(4人)と上位は中高年層が占めました。ヤングは10代(3人)と20代(2人)の5人が答えてくれました。他の年代は80代(2人)、50代(2人)、30代(1人)、年齢未記入(2人)でした。展示の理解度を聞いた設問に「理解できた」と答えた方は30人、「理解出来なかった」2人、未回答2人。ほぼ理解されたようです。



(2017年8月22日付け西日本新聞夕刊)

◆ 主要なポスターの題名をテーマ別に10枚例示して「どのポスターが印象に残ったか」と上位3枚を挙げてもらったところ、男性陣は『お国のために金を売りましょう』(14票)をトップに、『強く育てよお国のために』(12票)、『国民精神総動員』(8票)が上位を占め、集中する傾向がみられました。

逆に女性は分散しました。トップは『兵隊さん有難うを唱えましょう』(6票)でしたが、2位には男性陣の上位3点に加え『支那事変国債』、『優生結婚報国』の計5点が4票で横並びしました。

◆ 男女とも、国家が日常生活を強く規制し、国民を戦争協力に駆り立てたポスターに関心を示していて、兵士募集のような勇ましいポスターは下位でした。

◆ 「よくぞ保存して下さり、そして展示開催して下さいと、只々感謝申し上げます。福岡県内他自治体や企業等も開催する勇気を持ってほしいと思いました(原文のまま)」

◆ これは福岡県内に住む48歳のパート女性の感想です。前ページに掲載した田島奈都子さんの顛末記にもある「関係機関の自己規制や萎縮」に強い危機感を抱いている様子が伝わってきます。

◆ 福岡市博多、南区と糸島市からやって来た女子高校生三人組は「強く育てよお国のために」に揃って注目し、

「貴重な資料をたくさん見ることができて、いい体験になりました」との感想を残しました。子どもを国に捧げなさいという国家の意思をどう感じたのでしょうか。

◆ 千葉県柏市からやって来た男子大学生(20歳)はこう書き残しました。

「当時の社会の異様な気質を確認することが出来、大変勉強になりました。ありがとうございました。」

◆ ほかにも次のような感想を頂きました。「ポスターを見ることで具体的に国策が見えてきた。プロパガンダの手法が判った(糸島市の無職女性・64歳)。

「戦争の危機が実際に迫っている今、この企画は大きな意義があります」(福岡県宇美町の男性会社員・44歳)。「当時の社会を思い出し、今の時代とのあまりのギャップにショックを受けました」(福岡市南区の無職女性・83歳)。

◆ 「昭和17年生まれ、父親は戦死。戦後苦労した人間です。当時の事実がよくわかりました」(福岡市西区の無職男性・75歳)。「戦争遂行のため1500種類ものポスターを作製したことに大変驚愕しました。これでは洗脳されるなと思いました」(糸島市の無職男性・66歳)。

◆ 「日本画の大家横山大観でさえポスターを描いていたのにショックを受けた」(糸島市の無職男性・61歳)。

留学生がやって来た!

九州大学で学ぶ14カ国・地域の留学生26人と日本人学生1人が休館日の11月13日(月)、大学のマイクロバス2台に分乗して見学に訪れた。

同大学留学生センターの催し。ポラック・ジョーダン教授、肥後裕輝教授ら4人に引率され、博多湾を一望する「海の部屋」では「皆さんが学ぶ九州大学のヨット部は国内最初の大学ヨット部です。戦前のベルリン五輪に選手2名を送りました」との説明にうなずき、第2



展示室の五カ浦廻船の縮尺模型の前では、江戸時代に能古島を隆盛に導いた海運業の盛衰、木造和船の建造技術、島の歴史の一端に触れた。

参加したマレーシアの女子学生は「将来は日本に関係する仕事に就きたい」と日本語で話した。

参加した14カ国・地域の内訳は次の通り。
アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、ロシア、ベルギー、スウェーデン、オーストラリア、エジプト、中国、中国(香港)、台湾、マレーシア、韓国



海の部屋で



縮尺模型の前で

友の会の会費、所得控除 または税額控除の対象に

従来、公益財団法人亀陽文庫に寄附して頂いた個人の皆様は、所得税確定申告において、「所得控除」が可能となっていました。平成29年7月20日付で「所得控除」と「税額控除」のいずれかを選択出来るようになりました。

併せて、従来、控除対象になつていなかった「友の会」会費(一口3000円)も、「寄附金」として扱うことにより、寄附金額より2000円を差し引

いた金額を「所得控除」と「税額控除」のいずれかを選択して申告することが可能となりました。

尚、「税額控除」の場合は、当法人が発行します「領収書」と「税額控除に係る証明書」の添付が必要です。

法人から支出された「寄附金」の損金算入額については、法人の所得等により異なりますので、顧問税理士にご確認下さい。

協賛会費、友の会費、納入時期統一

事務作業を簡素化するため従来ばらばらだった会費の納入時期を毎年4月1日付けに統一しました。

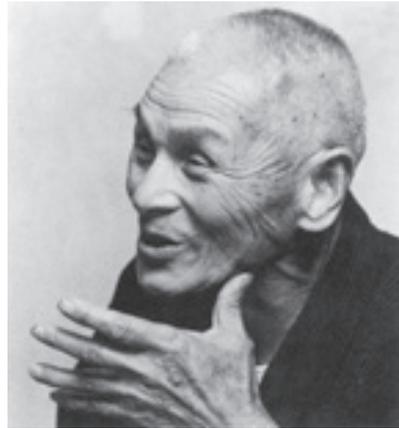
これまでは新規ご入会の満1年後に「継続のお願い」と「会費納入用紙」をその時々を送っていました。

したが、今後は会員期間を4月1日から翌3月31日までの1年間に統一し、新規ご入会後1年間に満たない場合でも年度初めに一齐にお送りします。

ご協力をお願いいたします。



巻き上げ機(左遠方)は今にも動き出しそう。右側に本館。



山本作兵衛さん
(博物館の出版物から引用)

**チラリ
拝見!**

よその博物館

田川市石炭・歴史博物館 (田川市大字伊田)



誇らしげな「炭坑節発祥の地」



たくましく優しい「炭坑夫之像」

セメントの原料石灰岩を削りに削って低く
なってしまう香春岳を遠方に望み、広い敷地
内には炭鉱の巻き上げ機の大きなやぐらがデン
と構える。男女ふたりの「炭坑夫之像」、金文
字で書かれた「炭坑節発祥の地」の碑。駐車場
もゆったりとしている。本館の改修工事を終え、

◆冬季休館のお知らせ◆

恒例の冬季休館についてお知らせします。
▽年内の開館は12月17日(日)まで。
▽来年の再開は2月23日(金)。
※休館中のお問合せ等は
電話092(883)2887まで。

- 主なグループ来館**
(平成29年9月～平成29年11月)
- ▼〔9月〕7日(木)九大地球惑星科学教室13名、能古小(島の歴史研究)9名
 - ▼〔10月〕3日(火)糸島市のグループ10名、9日(月)西区よかとこ案内人(あこめの会)27名、17日(火)東区原看護専門学校120名、20日(金)糸島市可也公民館人權学習班21名、
 - ▼〔11月〕3日(金)九大農学部東教室4名、5日(日)新老人の会福岡支部36名、西区よかとこ案内人(あこめの会)26名、9日(木)城南区コーラスグループ10名、10日(金)福岡インターナショナルスクール24名、13日(月)九大留学生31名、15日(水)東区宮松公民館(女性学級)22名

再開したばかり。
筑豊炭田という言葉は死語になったが、ここには全盛時代の「ヤマ」があった。
展示の目玉「山本作兵衛コレクション」
2011年・ユネスコ世界記憶遺産登録)は何
度足を運んでも新しい発見がある。
作兵衛は八歳から坑内に下り、筑豊の中小炭
坑を渡り歩いた。その半世紀の炭坑生活を手書
きの絵とそれに添えた独特の文章で描いた。
作品の前に立つと、よく知られた坑内唄「七
つ八つからカンテラさげて坑内下るも親の罪」
がそこから聞こえてきそうだ。

ようこそ博物館へ



凡例

- バスコース (能古学校前バス停から徒歩約4分)
- 徒歩コース (渡船場から徒歩約15分)
- 館内散策路
- 名所・旧跡
- お食事、みやげ物店など
- 博物館案内板
- バス停

開館日 / 毎週 金曜・土曜・日曜と祝日
 ※団体の場合は休館日にかかわらずご相談ください
開館時間 / 10:00～17:00(入館16:30まで)
入館料 / 大人400円・高校生以下無料
 ※団体20名以上2割引き
 (注) 冬季(12月下旬～2月下旬)は、展示物入れ替えなどで長期休館を原則としています。御用の場合は事前にお問い合わせ願います。

渡船場からアイランドパークへの西鉄バス時刻表(平成29年12月現在) ※博物館へは「能古学校前」で下車して下さい。

渡船場前発 アイランドパーク行	平日	07:57	08:48	09:45	10:30	11:30	12:55	13:35	14:35	15:35	16:45	
	土曜日	07:57	08:48	09:45	10:30	11:30	12:55	13:35	14:35	15:35	16:45	
	日・祝日	07:57	08:48	09:45	10:30	11:30	12:55	13:35	14:35	15:35	16:45	18:00
アイランドパーク発 渡船場前行	平日	08:23	09:20	10:03	11:13	12:28	13:18	14:18	15:18	16:18	17:28	
	土曜日	08:23	09:20	10:03	11:13	12:28	13:18	14:18	15:18	16:18	17:28	
	日・祝日	08:23	09:20	10:03	11:13	12:28	13:18	14:18	15:18	16:18	17:28	18:38

※ 繁忙期は臨時便が運行されます。

浜旅旅客待合所
までのアクセス

西鉄バス

- JR博多駅より 博多口正面Aのりば
300、301、302番「のこ渡船場行き」:約50分
- 天神より 三越前1Aのりば
300、301、302番「のこ渡船場行き」:約30分

市営地下鉄:「姪浜駅」下車乗り継ぎ

- 西鉄バス姪浜駅 北口
98番「のこ渡船場行き」:約12～20分
- タクシー:約8分

市営渡船(フェリー)

- 姪浜一能古島間:約10分

お問い合わせ

姪浜旅客待合所
TEL 092-881-8709

能古旅客待合所
TEL 092-881-0900

能古・姪浜航路 時刻表

能古 発				姪の浜 発					
能古 発	8	10:00	16	17:30	姪の浜 発	8	10:15	16	17:45
1	◎05:00	9	11:00	17	18:00	1	◎05:15	9	11:15
2	06:00	10	12:00	18	18:30	2	06:15	10	12:15
3	06:30	11	13:00	19	19:30	3	06:45	11	13:15
4	07:00	12	14:00	20	20:15	4	07:15	12	14:15
5	07:30	13	15:00	21	20:45	5	07:45	13	15:15
6	08:00	14	16:00	22	21:45	6	08:15	14	16:15
7	09:00	15	17:00	23	◎22:45	7	09:15	15	17:15
								23	◎23:00

※ 繁忙期はフェリー臨時便が運航され、島内バスの臨時便と接続します。

◎印は日祝日連休 平成29年12月現在